

平成30年度 福井市越廼中学校スクールプラン



教師・家庭・地域の願い
学習や運動をがんばる子
地域を愛し次代を担う子

生徒の実態
明るく、素直、前向き
地域活動や学習課題に
対してまじめに取り組む
グループ内で自分の考え
を表現することはできる
が、交流により考えを深
めることに課題がある

【学校教育目標】
知・徳・体の調和のとれた力を育み、地域を愛する生徒の育成
【めざす生徒像】
◆目標を持って学び続ける生徒
◆誰とでも仲良くできる生徒
◆何事にも耐えることができる生徒
◆地域を知り、地域のための活動に積極的に参加する生徒

福井市学校教育目標
「郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成」

福井市学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」

越廼中学校区教育テーマ
「地域に誇りを持ち、
世界にたくましくはばたく
越廼っ子の育成」

【研究主題】
「主体的に取り組む、豊かに表現できる生徒の育成」
～ 伝え合うことで深まる学び ～

確かな学力の育成

- 基礎・基本の確実な定着
- ◎ 対話による学びの深化

具体的な取り組み

- ・つけたい力の明確化と「振り返り」による評価の実施
- ・課題に応じた「伝え合い」の工夫
- ・小規模校ならではの個に応じた指導の充実

数値目標

- ・ドリルコンテストの実施 **合格9割**
- ・生徒が、学び合いの中で新たな学びを見つかったり、理解を深めたりしている **生ア「振り返り」8割**
- ・課題の工夫により、生徒が意欲を持ち、主体的に学んでいる **生・教ア8割**
- ・多様な考えを表現できる場が設定されている **生・教ア8割**
- ・年1回の研究授業を実施する **教ア10割**
- ・ICTや新聞を授業で活用する **教ア10割**

豊かな心・健やかな体の育成

- 認め・高め合える学級・学校づくり
- ◎ 夢や目標に向かって、頑張っていることがある生徒の育成

具体的な取り組み

- ・互いの個性を認め合う学級づくり
- ・感謝の言葉が聞かれる学校づくり
- ・夢や目標に向かって努力するプロセスにおける支援の充実
- ・情報モラル教育の実施

数値目標

- ・道徳等で感謝について考え、「ありがとう」を伝え合い、挨拶をし合う **生・教ア9割**
- ・新聞や本を週に2時間は読む **生ア8割**
- ・学校や学級におけるいじめ**ゼロ**又は解消
- ・夢や頑張っていることがあり、苦手なことにも挑戦している **保・生・教ア7割**
- ・生徒の悩みに寄り添い支援する **生ア8割**
- ・ネット利用によるトラブル**ゼロ**又は解消
- ・目標を持って部活動に参加する **生ア8割**

地域と連携し「越廼PR」を推進

- ◎ 社会に開かれた教育課程を作成し、地域や学校に誇りを持つ生徒の育成
- ふるさと学習の充実

具体的な取り組み

- ・「越廼PR」と教科学習を関係づけることによる「新越廼プラン」の作成
- ・便り等の発行と学校公開
- ・地域行事への積極的な参画と参加

数値目標

- ・越廼PRを通して越廼地区の向上に協力することができる **生・教ア8割**
- ・越廼PRを通して社会参画の必要性を感じ、意欲を持つことができる **生ア8割**
- ・地域行事「越廼PR」と教科学習を関係づけたカリキュラムを作成する
- ・町おこし新聞を発行する **月1回発行**
- ・地域行事に参加する **生ア8割**
- ・越廼サミットを開催する **年1回**

協働し成長する教師

- ◎ 現職教育の充実
- 教科、領域の関連を図る研究
- 園小中連携の充実

具体的な取組

- ・「伝え合いによる学びの深まり」を目指した授業改善
- ・現職教育でのアドバイス会
- ・中学校区、へき地複式校の交流と連携
- ・NIE教育の実践

数値目標

- ・学校の研究主題や個人テーマについて意見交換したことやアドバイスを実践に生かすことができる **教ア9割**
- ・中学校区教育の努力事項と評価指標を意識して実践している **教ア8割**
- ・3校合同での交流活動や授業研究を行う **それぞれ年1回以上**
- ・遠隔授業システムを活用した活動を行う **年1回以上**
- ・NIE教育の現職教育を行う **2回以上**

<業務改善のための取組>

- ・職員会議のペーパーレス化
- ・アンケートや評価項目の整理と精選
- ・「行事予定」のデータを「学校日誌」や「本日の予定」(職員室のテレビに投影)に活用